

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は全職員で話し合い作り上げた。毎朝の申し送り時に復唱し、理念に沿ったケアと取り組みを日々、行っている。又理念を苑内の目のつく所に掲示し、全職員で共有し、常に理念を意識した介護をしている。	毎朝のミーティングで復唱し、内容はわかり易い文章にして目の着く場所に掲示している。また申し送りのときに理念に沿ったケアを行っているか全職員で話し合がされている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には可能な限り参加したり、苑の行事に、地域の方に参加をして頂き、又ボランティア・地域の方々や子供達に気軽に立ち寄ってもらえる雰囲気作りをしている。職員も地域の清掃活動を毎月自発的に行っている。	地域の盆踊り大会や秋祭りに参加している。苑の行事は「ほたる通信」や自治委員さんを通じて地域の方にも参加して貰っている。また職員も毎月地域の清掃活動を自主的に行い地域との交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の方々に参加してもらいながら、認知症を理解してもらう機会作りを行っている。相談の受け入れもしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の会議の実施で、行政・包括支援センター・ボランティア・ご家族の参加で情報や意見の交換や苑の評価を受け地域や行政の協力を受けながら運営やサービスの改善に努めている。	2ヶ月に1回、市福祉・包括支援センター・民生委員・ボランティア・ご家族の参加で運営推進会議を開催しており、運営やサービスの改善に努められている。議事録は詳細に記録されて、関係者には報告されている、よい関係ができています。	

5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>自治体とは、連携をとりながら、情報把握に努めている。不明な実状を伝えたり随時相談している。又運営推進会議への参加を頂、意見や評価を受けている。</p>	<p>毎月の「ほたる通信」の送付、行事の案内、運営推進会議への参加のほか随時連絡を取り相談している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>勉強会を定期的実施し、身体拘束の重要性を理解し拘束しないケアに努めている。玄関の施錠については、全職員で話し合いを持ち玄関部分の改善を行い、入居者が自由に苑内を移動できる環境づくりを行った。苑内にも拘束しないケアの掲示を行っている。</p>	<p>玄関の施錠は改善され、入居者が自由に園内を移動できるようにされている。勉強会を定期的実施し、身体拘束をしないケアが行われている。園内には拘束しないケアの表示がされている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期的な勉強会の機会を作り、職員虐待防止の徹底を行っている。苑内にも掲示している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>定期的な勉強会の機会を通し学んでいる。各入居者の状況把握をしている。</p>		

9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約については、ご家族に詳しく説明を行い、不安や疑問点があれば納得していただけるまで説明し同意を頂いている。</p>		
10	<p>6 ○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年2回家族会を開催。話し合い・希望や意見を聞く機会を設けている。又、常日頃より、家族来苑時に、意見を聞く機会をもち、それらの意見を職員のミーティングで報告し、改善するべき点については、日々の介護に生かせるようにしている。利用者にもアンケートにこたえて意向の把握をしている。</p>	<p>年2回の家族会や常日頃の面会時に意見・要望を聞く機会を持ち記録し、日々の介護に反映している。ご利用者の意向もアンケートにて把握している。このことは家族アンケート結果からも全員の方が「よく聞いてくれる」「よく理解している」「よく対応してくれる」と良い評価を受けている。</p>	
11	<p>7 ○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1度会議を開催し、意見等聞く機会を作っている。意見箱も苑内に設置している。年1回また必要に応じ、個別面接し意見を聞き、取り入れる工夫をしている。</p>	<p>月1回のスタッフミーティングで意見を聞く機会を作っている。意見箱も苑内に設置している。年1回または必要に応じて、個人面接をし意見を聞き、取り入れる工夫をしている</p>	
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各自勉強が出来る機会を与えている。又ローテーションを組み職員が必要な時休みが取りやすい職場環境である。又やりがいがあるように有資格者には、手当を支給している。</p>		

13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画に基づきフランチャイズからの外部講師派遣による勉強会開催を行っている。資格やスキルアップの為の一部補助や手当制の体制もある。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホームの会の研修への参加の機会がある。又他施設の職員との交流会で意見交換を行い、自ら運営の改善に努めている。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前にご本人に何度か来て頂き、馴染みの関係を持ち、本人の気持ちを受容し・共感しながら安心して過せる雰囲気や馴染みの生活に近い環境作りに心掛けている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前のご本人の様子やご家族の苦労や困難を受け止め、ご家族の不安が和らげるよう努め信頼関係作りをする。</p>		

17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人・家族の希望・要望を聞いたり、本人の状況を把握し、必要なサービスについて、家族と話しあい同意を頂いている。他のサービスとして、理美容利用が、2ヶ月に1回実施している。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の希望や出来る事を把握し、各自が役割を持ち日々共に協力し生活を支え合っている。料理の下ごしらえや味見をして頂いたり、料理方法を教えて頂きながら食事作りをしている。人生の先輩として、尊敬・感謝する関係作りに心がけている。</p>		
19	<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人家族職員との交流が持てる機会作りをしている。苑の行事に出来るだけ参加の機会を持ち、意見や要望を聞きながら信頼関係作りをしている。又ご家族様が来苑しやすい雰囲気作りに努めている。</p>		
20	<p>8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている</p>	<p>馴染みの物を持ち込んで、馴染みの環境作りを行い、その時々に応じ本人の馴染みの場所への外出支援も行っている。面会希望者には、時間の制限なく寛いで頂けるように配慮し、ご家族様と共に食事をして頂いたり居室でゆっくりくつろげる場所作りを行っている。</p>	<p>馴染みの場所への外出支援が行われており、「ほたる通信」を毎月送り家族等には近況を伝えている。家族会や行事への参加の案内や連絡を密にし家族の悩みや相談にのったり気軽に訪問できるよう配慮している。</p>	

21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>全員で過ごす時やグループで過ごす機会・又個々での対応等で、その時の気分や状態に合わせた支援をしている。又孤立しないよう気配りしながら、共に関わりあえる工夫に努めている。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>必要に応じて相談・支援している。亡くなられた方の家族とも関わりが続いている。</p>		
<p>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>				
23	<p>9 ○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>常日頃より各自の思いを受け止める支援をしている。カンファレンスで各自の思いや希望を話し合い随時対応に努めている。利用者のアンケートや自己決定出来る機会を作っている。ご本人様の希望で、自室に仏壇を置かれ、毎朝御お仏飯と御参りを日課にされる方もいらっしゃる。</p>	<p>家族アンケートで「職員は、ご本人の思いや願い、要望等をわかってくれていると思いますか？」との設問に全員の方から「よく理解してくれている」と良い評価となっている。</p>	<p>家族アンケートの良い評価が、今後も続くように入所者・家族とのコミュニケーションを行ってください。</p>
24	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所前の生活歴・生活環境等家族より聞き取りした基本情報を共有している。又家族来苑時の話の時聞き取りした事を記録に加えスタッフ全員が共有できるようにしている。又本人本位の支援に可能な限り努めている</p>		

25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人一人の日々の暮らしの中で、出来る事と出来ない事を見極め、行ってもらう中から、さらに本人の能力や可能性を見つけ職員で共有し支援に努めている。</p>		
26	<p>10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>入居者の身体的・精神的状況・家族の思いを把握し、課題分析し、ニーズに即した介護計画を作成している。介護計画・モニタリングは職員間で話し合い、家族の意向を確認し、計画の説明を行い同意をもらっている。介護計画は全員で共有できるようにケースファイルにファイリングしている。</p>	<p>朝のカンファレンスで、気づきや意見をノートに記入し、家族会や面会等で意見要望を聞き介護計画を作成している。3ヶ月に1度のモニタリングも行われている。また変化があった場合は随時見直しをしている。家族に同意も貰っている。</p>	
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日各自の状況を経過記録に記載している。その都度の変化やきずきを大切にカンファレンスで共有し、対応について話し合い介護計画の見直しをしている。</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況に合わせた柔軟な支援をしている。</p>		

29	<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティアの協力や地域の人々とのつながりを持ち、近隣のスーパーでの買い物、地域の行事の参加の機会を作り馴染の生活や環境に接し 心豊かな生活を楽しんでもらうよう支援している。</p>		
30	<p>11 ○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人家族の希望を聞き、かかりつけ医を決めている。かかりつけ医の定期的な往診を受けたり、緊急時や体調の変化に応じその都度の受診や相談助言を受けている。又健康診断や予防接種も実施している。本人の状態に応じ、専門医等家族に相談しながら、受診を行っている。</p>	<p>”健康面・医療面・安全面について心配な点はないか”という設問の家族アンケートで、「心配ない63%、あまりない37%」とほぼ全員が「心配ない」との解答でした。</p>	
31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>一人一人の状態変化については看護師に連絡・相談している。又かかりつけ医にも必要に応じて相談・指示を受けている。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院に際し本人のその時の状況や状態が把握できるように病院関係者に説明している。退院時は医療機関より詳しい情報をもらっている。</p>		

33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合及び看取りについての指針があり、ターミナルケアの内容・手順が定められた職員も定期的に勉強会を行い、全職員で方針を共有している。また、契約時にご家族に説明し同意を頂いている。重度化した場合、家族とよく話し合い、家族の意向に沿った支援をさせていただく。	重度化した場合及び「看取り」についての指針があり、ターミナルケアの内容、手順も定められ、スタッフも定期的にカンファレンスを行い、全職員で方針を共有している。また契約時に同意書も作成している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時速やかに、対応できるよう定期的に勉強会や訓練の機会を持っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の立会で、定期的に避難訓練を実施している。近隣の方にも訓練に参加して協力してもらっている。夜間帯の避難訓練や話し合いの機会を作っている。 (非常食の備蓄)	年2回消防署指導の総合訓練(地元とも参加)、夜間訓練1回実施している。また非常持ち出し箱を設置し非常食等の備蓄品もできている。	22年度スプリンクラー設置予定 常日頃の訓練や意識が災害を防ぐことだ と思うので、年間計画の中で月1回の実施をお願いします。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	高齢者の尊厳やプライバシー保護について、定期的に勉強会を行い、職員間で話し合い言葉かけや対応に十分配慮したケアに努めている。	年間計画により尊厳やプライバシー保護についての勉強会を行い、利用者への言葉かけや対応で誇りを傷つけないよう職員間で話し合いケアしている。	

37	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>食事入浴レクレーション等の各場面において言葉かけを通して本人の選択と決定を重視している。本人が自己決定出来ない重要なものについては家族と連絡取り合っている。</p>		
38	<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人一人のペースに合わせる為決まった日課は敢えて作成せず、毎日本人の希望により散歩買物レクレーション等実施している。又入浴も入りたい人は毎日入ってもらっている。</p>		
39	<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>家族と連携して個人の好みや趣味に応じた衣服を準備すると共に化粧品の補充もこまめに行っている。年2回の苑からのプレゼントも個人の好みに応じた品物を差し上げている。ご家族が、散髪に来られる方もいらっしゃる。</p>		
40	<p>15 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>好みの献立や旬の食材や苑の畑での野菜を使ったり、共に協力して楽しく食事出来るようにしている。食事は入居者・職員一緒に食卓を囲み楽しく食事出来る雰囲気作りをしている。食材の下ごしらえや食器の後かたづけ・テーブル拭き等個人の力に応じ手伝って頂いている。</p>	<p>好みの献立や旬の食材・苑の菜園でとれた野菜を取り入れたり、また下ごしらえや後片づけなどできることを手伝って貰い楽しく食事作りがされている。食事も入居者と職員と一緒にされている。</p>	

41	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスを考え、馴染の食材を中心に出来る限り多くの品目を使用すると共に個人の好みに応じたメニューで対応している人もいる。必要に応じ、フランチャイズでの、管理栄養士に献立の内容を見てもらっている。食事以外の水分摂取については最低1日1000mlを目標とし、その量について記録している。</p>		
42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後一人一人に応じた口腔ケアをしている。夜は義歯を預かり洗浄している。</p>		
43	<p>16 ○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>時間を見て各人トイレ誘導を行い、排泄後は記録表をつけ、排泄の間隔・回数を確認し、誘導の目安にしている。出来る事はして頂き、可能な限り普通の下着で、おむつ使用を減らす努力をしている。</p>	<p>排泄チェック表の活用により、トイレ誘導をしている。可能な限り普通の下着で、おむつ使用を減らす努力をしている</p>	
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>繊維の多い食物摂取や水分摂取に心がけ、程度な運動をするように取り組む。排泄チェック表で、確認し早めの対応が出来るように心がけている。</p>		

45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>1日間隔を目安に本人の希望と体調を考慮し、入浴を楽しんで頂くよう支援している。毎日入浴を希望される方は本人の希望に添い入浴している。ゆず湯・バラ湯等浴槽にも配慮し、入浴を楽しんで頂けるようにしている。入浴前本人に確認し体調の観察・バイタルチェックし、入浴動作も安全に入浴できるように出来ない部分は手助けし、入浴を楽しんで頂けるように個々に応じ支援している。</p>	<p>基本的には2日に1度の入浴ですが、希望者には毎日の入浴も行われています。入浴もゆず湯やバラ湯など趣向を凝らしているのみなさん入浴を楽しみにされています。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>室温・照明・寝具の清潔に気を配っている。シーツは定期的（週1回）に交換し天気の良い日は布団干ししている。本人の希望で馴染の布団や家具等の使用で安心して眠れるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>医師の指示により看護師の管理のもと、一人一人の薬の内容や用法・用量について全職員で理解し、確実に服薬できるように確認し合っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々に応じ出来る新聞たみ・ブライド開閉・食材の準備等出来る事をして頂きながら手伝って頂いた事に感謝の言葉で満足感を味わって頂けるようにしている。又個々の趣味や特技を生かした出番作りをしている。</p>		

49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>日常的に各自の希望に応じ散歩・買物に出かけ地域の人とのコミュニケーションを図るようにしている。又行事を計画し季節感を味わってもらっている。馴染の場所や行楽地への外出も行っている。時には家族やボランティアと共に、出かける機会を作っている。希望の多いお寺・神社にも出かけている。</p>	<p>近所の散歩や各自の希望によって馴染みの場所や神社やお寺に出かけている。会話の中で馴染みの地名から出かける話がまとまりご利用者の表情は嬉しそうでした。「ほたる通信」や施設内に写真を掲載している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的には立て替え制度を行っている。一部の人で本人家族の希望でお金を所持している。買物に行った時お金を渡し支払ってもらい、出来る支援をしている。</p>	/	/
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の希望に応じ電話をかけたり手紙のやり取りを行っている。本人の手紙の取り次ぎも行っている。</p>	/	/
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自室やトイレ・居間・食堂・台所と迷わない様に写真等で目印し分かりやすくしている。室温・照明においても配慮している。中庭や玄関には、季節の花・野菜を作り、天気の良い日は、中庭でお茶や食事をする事もあり、季節を感じながら居心地の良い空間づくりを心掛けている。</p>	<p>玄関や居間・食堂には季節の花や時期的におひな様が飾られており、広々としたリビングは明るく、全員の方が自然と集まり日中ほとんどの時間を過ごされている。対面式のキッチンで、調理の様子などが見え、家庭的な雰囲気を感じられる。</p>	

53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者同士話が出来る椅子の、配置の工夫をし、状況に応じ一人で過せる場所もあり、常に職員が見守れるようにしている。</p>		
54	<p>20 ○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染の家具やご家族の写真や希望の品々の持ち込み、ベットや畳利用での希望の生活が出来るように配慮している。希望で仏壇を持ち込み毎朝御参りを日課にし安心出来る居室作りをしている人もいる。</p>	<p>馴染みの家具やご家族の写真が飾られベッドや畳での一人ひとりに合った生活の場になっていた。仏壇を持ち込まれきれいな花が飾られている部屋もあり、落ち着ける工夫がされていた。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>苑内はバリアフリーで、手摺りも設置されており、自由に安全に移動できるようになっている。各自の部屋の入口に写真をはり、トイレや浴室もわかりやすくしている。中庭にも自由に出入り出来る椅子・テーブルを配置自由にゆっくりした時間を過ごせるよう配慮している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない